

令和5年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第77回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 < Bブロック 2回戦 >

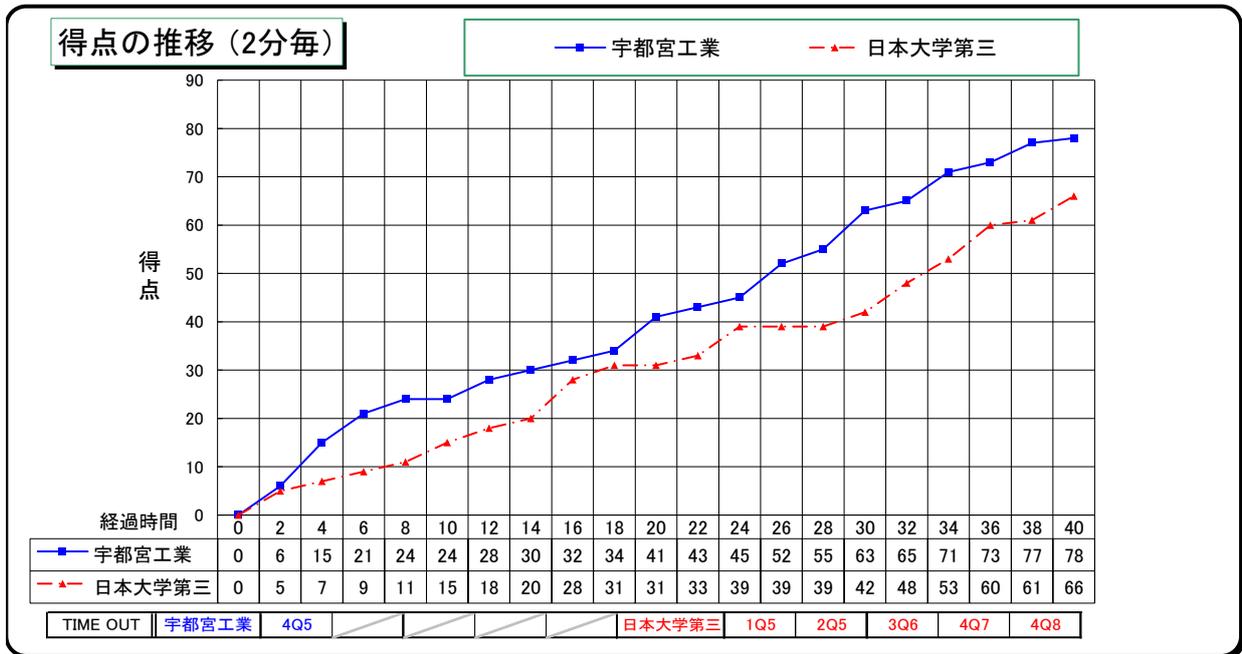
令和5年6月3日(土)	アダストリアみとアリーナ	大会1日目	Dコート	第6試合 16:30~											
<チームA> 83	{ <table style="margin: 0 auto; text-align: center;"> <tr><td>24</td><td>1Q</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>2Q</td><td>16</td></tr> <tr><td>22</td><td>3Q</td><td>11</td></tr> <tr><td>20</td><td>4Q</td><td>24</td></tr> </table> }	24	1Q	15	17	2Q	16	22	3Q	11	20	4Q	24	} 66	<チームB> 日本大学第三 東京
24	1Q	15													
17	2Q	16													
22	3Q	11													
20	4Q	24													

主審: 大野 太裕(茨城) 第1副審: 大和田 雅人(茨城) 第2副審: 小林 大輝(茨城)

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	大谷 鴻太	19	3	12	3	4	4	4	2	2	3	1
◎	5	佐藤 壮流	13	3	6	2	4			2	2	5	2
◎	6	山川 大翔	17	3	8	4	7			3	1	5	
◎	7	石川 晃希	22		2	10	23	2	2	3	3	6	
◎	8	寺内 幸成	12			6	8			4	3	11	
	9	大里 知輝											
	10	田辺 真之介											
	11	櫻井 千尋											
	12	小平 陸斗											
	13	高野 莉玖											
	14	川邊 璃音											
	15	石川 優斗											
	16	富田 大翔											
	17	帯屋 潤太郎											
	18	佐藤 敦											
		コーチ 高崎 徹											
合計			83	9	28	25	46	6	6	14	11	30	3

S	No	選手名	得点	3P		2P		FT		F	リバウンド		アシスト
				成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	
◎	4	榎本 恵治	15	1	9	6	12		1	3	1	8	
	5	深瀬 太希											
◎	6	小松 暖汰	27	7	15	2	11	2	4	2	2	2	
◎	7	深瀬 太佑	12	1	4	4	7	1	2		3	8	2
	8	吉浦 悠人											
◎	9	佐々木 脩人	8		5	4	11			4		2	2
◎	10	中里 太陽	4		1	2	3			2	6	3	
○	11	柴崎 匠生											
	12	井手 陸人											
	13	笠原 滉人											
	14	小町 将輝											
	15	宮原 一希											
○	16	中井 時希											
	17	北角 司											
	18	倉光 駿											
		コーチ 川越 理											
合計			66	9	34	18	44	3	7	11	12	23	4

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート / 2P:2点シュート / FT:フリースロー / F:パーソナルファウル



戦 評	記入者: 大里 浩
-----	-----------

日本大学第三高校(以下日大三)と県立宇都宮工業高校(以下宇工)の、両チーム2試合目となるベスト4を賭けた試合が始まった。第1Q、日大三はハーフコートマンツーマンから#6小松の3P、#4榎本と#9佐々木のミドルシュートでバランス良く得点する。対する宇工はオールコートマンツーマンディフェンスで、192cmの#7石川の高身長を生かした守りと速い展開からの#4大谷の3P、#5佐藤の3Pで得点し、15-24の宇工リードで第1Q終了。

第2Q、日大三は#4榎本と#7深瀬ミドルシュートで得点するが、宇工は#7石川がインサイドシュートを決め、お互い譲らない。残り5分、20-30と宇工リードの場面で日大三がタイムアウト。この後、日大三#10中里が宇工#7石川に対して、体を張ったインサイドのディフェンスを見せる。オフェンスチャージングを#7石川から取ると、#7深瀬のドライブイン、#6小松の3Pで3点差まで詰め寄る。流れは日大三に行きかけたが、宇工も#8寺内のミドルシュート、#5佐藤の3Pで意地を見せ、31-41の宇工リードで終了。

第3Q、日大三は#6小松の速攻、#9佐々木のドライブイン、#10中里のインサイドシュートで巻き返しをはかるが、宇工も#5佐藤の3P、#6山川のドライブインで応戦し、会場は両チームの大歓声で沸き立つ。残り4分39-52で宇工リードとなり日大三がタイムアウトを取る。しかし再開後、すぐに宇工#6山川が3Pを決め、さらに日大三の#6小松が宇工#4大谷3Pに対し、痛恨のファウルをしてしまう。フリースローも全て決め42-63の宇工リードのまま終了。

第4Q、日大三が追いつきたい場面であるが、ディフェンスに疲れが出てしまい宇工#7石川のインサイドシュートを許してしまう。日大三も#6小松の3Pで応戦するが追いつくことができずに66-83で試合終了。宇工が翌日の準決勝に駒を進めた。